

# 宮城県の震災伝承ネットワークのイメージ

資料3-1

官

- <現状>
- ・伝承施設間のネットワーク構築  
(震災伝承ネットワーク協議会・3.11伝承ロード)
  - ・祈念公園の整備 (石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会)
- <課題>
- ・震災遺構, 震災伝承施設の維持管理費用の捻出
  - ・利用者側から見た情報の差別化の整理, 一体となった発信

民

- <現状>
- ・3.11メモリアルネットワークを中心とした民のネットワークの構築
  - ・被災経験者による, 自らの体験に基づく語り部等を行う伝承団体の存在感の大きさ
- <課題>
- ・次世代の伝承の担い手の育成
  - ・継続的な伝承活動に必要な活動資金の確保
  - ・継続的な情報の発信

## 県庁内でのネットワーク (オール県庁での取組)

伝承

教育

部局間の相互連携で、  
一体的な取組に

観光

防災

環境

多様な主体との  
連携

- <現状>
- ・東北大学災害科学国際研究所, 宮城教育大学等による研究
  - ・各学校による防災教育
- <課題>
- ・震災を経験していないこどもの増加
  - ・知見の蓄積のための事例収集 (官民との連携)

- <現状>
- ・様々な企業活動を通じた復興事業の推進
  - ・県内外の様々な団体, 個人による震災復興に関する多大な支援
- <課題>
- ・震災から11年を経過しての支援策の模索
  - ・企業内BCP等、関わることでのメリットの模索

学

産

## 目指す成果

- (1) 持続的な伝承活動につながる体制の構築
- (2) 「みやぎ東日本大震災津波伝承館」の震災伝承拠点としての機能強化